

- 氏名 : 宮西 洋幸
- 会員番号 : PN-0196
- 専門分野 : 土木工学 (交通分野)
- 保有資格 : FE Civil, TOEIC770 点,
技術士 (総合技術監理部門、建設部門) ,
一級土木施工管理技士

FE 試験受験 : 2019/04

PE 試験受験 : 2019/10



1. 受験申し込みまでの経緯

2019年4月下旬のFE・CBT試験のあと、一週間後に合格通知をいただき、すぐにPE試験の受験要領を読み込むとともに、参考書をオンラインで購入しました。その後、改元に伴う10連休が明けてから願書などを整え、JPECに出願しました。私は道路事業者のインハウスエンジニアとして、道路計画や道路建設、道路管理に携わってききましたので、DepthはTransportationを選択しました。

2. 受験の準備

PE試験はOpen Bookということもあり、記憶力というよりその場の参照力、瞬発力が大事だと実感しています。あまりに多くの図書を持ち込むと、その分量に溺れてしまうだろうと考え、準備は最小限にしました。

準備した図書は、以下のとおりです。

① PE Civil Reference Manual, 16th Edition (PPI)

Amazonマーケットプレイスで購入しました。1,700ページ余りのボリュームなので、細部は追わず、全体の大まかな構成を把握して、試験時に参照できるよう準備しました。

② PE Civil: Transportation Practice Exam (NCEES)

NCEESのサイトから購入しました。すべての問題を解いた訳ではありませんでしたが、出題の雰囲気をつかむことを心がけました。試験中も、同種の出題内容を参照することができ、有用でした。

③ FE Reference Handbook (NCEES)

FE試験に先立ち、NCEESのサイトから購入した本書も持参しました。ヤード・ポンドの単位系の参照などのために、見慣れた本書が役立ちました。

④ 英和辞典

試験前日にふと気づき、東京駅の書店で購入しました。試験問題に知らないタームが出てきた際、しっかりと文意を把握することができ、役立ちました。

3.テスト本番

10月27日のテストは、東京の一橋講堂で開催されました。前泊して、試験当日は9:00の受付開始時刻の30分前に会場に入りました。受付開始時刻前から、試験室隣の控室で電卓のメーカー・型番チェックがはじまり、9:30の試験室入室直前に受験票、パスポートのチェックを受け、着席します。

まず10:00から、試験の午前の部がスタート。土木工学分野全体を対象に、40問の4択問題を4時間で解きます。苦手な構造力学や水理学の問題が続き、くじけそうになりましたが、無事時間内に全問解答し終わりました。

14:00に午前の部が終わり、控室で昼食をとりつつ休憩して、15:00に再び試験室に入り、15:15から午後の部の開始です。交通工学に関する40問の4択問題を、同じく4時間で解きます。Reference Manualに載っていない基準が出典となっている問題も多く、経験からの勘で答えざるを得ないなど、手こずりました。結果的には全問回答したものの、午前よりは自信のない結果でした。

試験中は、前後半ともに、時間をバランスよく使うことを心がけました。よくわからない、計算が面倒といった問題は後に回し、まずはそれぞれ最後まで問題にあたりました。

19:15に終了し、荷造りして、19:30に会場を出て帰路に就きました。

4.テスト後合格通知まで

試験後、米国のオンライン掲示板 Engineer Boards をチェックすると、Civil Transportation の試験内容に同じ感想を持つ人が多くいて、少し安心しました。一方、試験結果の通知は、近年の通例では試験後38～42日後だとのことでしたが、その時期を過ぎても通知が届かず、やきもきしました。

5.合格通知

結局、今回の通知メールは、日本時間で12/13の午前3時に届き、朝起きてNCEESで確認すると、無事合格でした。

6.今後の方針

試験もそうでしたが、合格できたあとのPE登録も大きな山場だと感じています。JSPEで今後得られる情報や、先輩の方々のお力添えを得つつ、これを乗り越えて、PEを名乗れる日を迎えたいと考えています。

以上